

サービスラーニングを通しての学んだこと

活動先：NPO 法人 りんりん

クラス：石川 満 先生

1. 自分の成長と気づき

この活動を通して、まず始めに企画を考えるのがとても大変だった。私は今まで、自分で企画して活動するというをしたことがなかったので企画を考え実行することの難しさを学んだ。

毎回の授業の終わりに書くリフレクションシートはその日の振り返りをして、次回ほどんなことに気をつけて活動をするのか考えることができ、その日に学んだことを記録する事は今後役に立つことだと学んだ。

企画を実行するために、施設の職員さんと打ち合わせをして準備を進めた。どんな企画をしたいのか、企画をする上で何が必要になってくるのか明確に把握して事前に職員さんと打ち合わせしていくことが大切だと思った。

活動初日は、デイサービスの利用者さんに自分から話しかけることができず戸惑うことがいくつもあった。施設に慣れていくと、少しずつ話すことができるようになったが、コミュニケーションをとることはとても難しいことだと実感した。毎日の活動記録を書く中で、その日の反省をすることで新たな発見があり、次に生かせるように振り返ることができた。デイサービスで活動をして、施設のスタッフさんと利用者さんの関わり方を見ていて、利用者さんと話していくことで信頼関係がうまれていくと気付いた。私は利用者さんから話しかけてもらうのを待っているばかりだったので、利用者さんが困っている時や話しかけに行ける時に自分から話しかけていくように心がけて行動した。利用者さんに話しかけて、うまく話せなかったりすることもあったが、積極的に自分から行動していくことでいろんな利用者さんと話すことができ、信頼関係が深まっていくと感じた。

学童では、子どもたちから積極的に話しかけてきてくれて、すぐに仲良くなることができた。学童の企画のドッジボール大会では、始めはみんな楽しむことができたが、小学生の子どもたちは途中で飽きてしまい他のことを始める子も何人かいて、大人数で一緒に一つのことをするのは難しいことだと気付いた。

自分がされて嫌だと思ったことは子どもたちのためにもはっきり「してはいけないよ」と言わないといけないと学童の職員さんから聞いて、子どもたちにはっきり言うように心がけて活動をした。子どもたちの将来のためにも、言わなければいけないことははっきりと伝えることが大切だと学んだ。この活動を通して、失敗した時は何がいけなかったのか考え、その日に反省して次の日に成功するために反省を生かしていくことの重要性を学ぶことができた。

2. 活動を通して見えてきた地域課題や社会課題

サービスラーニングの活動を通して様々な地域課題や社会課題が見えてきた。活動先の

りんりんでは、デイサービスの隣に茶屋ができたことで、地域の人が茶屋に来て、それがきっかけで学童やデイサービスに入る人もいます。地域の人とふれあうためにも、もっと多くの人たちにりんりんや茶屋を知ってもらうことが大切である。

りんりんは小規模なデイサービスで、利用時間が短く、家庭的なサロンのような施設が利用者さんにとってはとても落ち着く空間でもある。利用者さんの家族の負担を少しでも減らしていくためにも、このような小規模なデイサービスを地域に増やしていくことはとても重要だと考える。地域に利用者さんが通いたいと思うような小規模なデイサービスを増やしていくことによって、地域の人たちと交流が増え、社会がかわっていくと私は考えた。

NPO 法人の人たちと関わり、よりよい地域にしていくためにも地域の方や大学生、ボランティアの方と協力をして、地域をかえていくことが大切だと思う。NPO の活動をもっと地域で取り上げ、地域住民一人一人が地域活動へ参加することができると、より地域が活性化すると考える。地域で助け合い、支え合い、協力し合うことでNPO の活動も広がり多くの地域の人に知ってもらうことができると考える。



指導を受けながら食事介助の経験



活動報告会での一時

ポスターセッションでのプレゼン